

令和7年度公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	いこいの家得雲荘		
管理者名	株式会社関越サービス	指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日
担当課	西蒲区 健康福祉課		
所在地	新潟市西蒲区仁箇2730番地1		
根拠法令	老人福祉法 第5条の3, 第15条第5項, 第20条の7		
設置条例	新潟市老人福祉センター条例, 同施行規則		
施設概要	◇敷地面積 1,812.37 m ² ◇建築面積 446.61 m ² ◇延床面積 456.52 m ² (本棟446.61m ² 、自転車小屋9.91m ²) ◇構造: 木造平屋建 ◇設置年月 平成11年4月 ◇施設内容 事務室, 倉庫, 湯沸室, 浴室・脱衣場(男女各1), 機械室, トイレ(男女各1, 障がい者用1), 談話室, 和室(10畳×4), 大広間(50畳×1)		

施設設置目的
高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、高齢者の健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜の供与を目的として、新潟市老人福祉センターいこいの得雲荘を設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
(1) 関係法令、条例、規則等を遵守、施設の設置目的に沿った適正な管理を行う。 【重点課題】 ・関係法令、条例、規則及び業務仕様書に定める事項の遵守 ・施設の設置目的にふさわしく、かつ明確な運営 (2) 利用者が安心して利用できる体制の整備、また平等な利用を確保する。 【重点課題】 ・利用者の安全確保(通常時・災害時とも)のための対策 ・事故発生時に適切な対応ができる体制の整備 (3) 利用者が快適に施設を使用できるよう、施設、設備、備品の維持管理を適正に行う。 【重点課題】 ・施設の建物・設備・備品について良好な状態を保つ方策 (4) 利用者の意見、要望等を適切に施設の管理に反映し、サービスの向上に努める。 【重点課題】 ・施設利用者へのサービス向上を実現するための具体的な計画 ・利用促進のために有効的なPR方法の提案 (5) 常に効果的かつ効率的な管理に努め、経費の節減を図る。 【重点課題】 ・管理運営経費の縮減が図られる管理計画 ・収支計画の妥当性

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	入場者数(年)	12,000人以上	8,321人	C	目標が達成されなかった
	利用者満足度	利用者アンケートでの満足度 70%以上	アンケートはありませんでした。	B	
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望に対する5営業日以内の回答及び区への当日内の報告	発生時には速やかに区に報告し、個別の対応を実施	B	
	設置目的に合致したサービス提供	年間3回以上実施	お楽しみイベント:年12回開催(ピンコ大会)、デオライムコンサート:年5回ヤクルト健康教室:年4回実施しました。	B	
財 務	利用者1人あたりの運営経費	620円以下	1,126円	C	目標が達成されなかった(光熱水費・物価高騰の影響)
	使用料収入額(年)	400,000円以上	352,740円	C	入場者数の減少によるもの
	光熱水費・委託料等の削減	電気・ガス代等経費の削減努力	9月に電気契約を見直し、より安い業者に切り替え電気代を削減。	B	
業 務	事業計画・事業報告の適切さ	内容の適切、定められた期日までの報告	内容に関して、期日までに健康福祉課へ提出した。	B	
	防災・避難訓練実施回数	年間2回以上実施	2回の実施(令和7年9月と3月)	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	事件・事故発生時の速やかな処置及び報告	事件・事故の発生時は、速やかに処置を行い担当課に報告し必要に応じて報告書を作成しました。	B	
人 材	配置人員の業務理解度と能力習得度の向上	職員研修年2回以上の実施	職員研修:令和8年度2月と3月に	B	
	労働基準の充足	労働基準法、労働安全衛生法その他の労働基準に関係する法令の遵守	労働関係法令の遵守	B	

【評価基準】

A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B:要求水準(評価指標)が達成されている

C:要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。〈評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。〉

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

一昨年より開催している弊社指定管理9施設共催イベント【秋の湯めぐりスタンプラリー】【お風呂大好き選手権】による新潟市内施設回遊・リピート利用促進、令和7年2月からスタートした9施設共催イベント第二弾【みんなのお風呂川柳】を今年度も引き続き開催いたしました。
さらに、今年度の新しい取り組みとして、10月からデオライムコンサートを開催とカラオケ大会の満足度の向上に務めました。これらの取り組みの結果入館者数は、8,321人でした。
また、カスタマーハラスメントに備えるため、接客接遇研修に加えて、ハラスメント研修も実施し、安全で快適な施設運営に努めています。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

コロナ禍以降入場者数の回復が難しい傾向であるが、施設の設置目的に沿った独自の事業を計画・実施し、継続的な利用や新規利用者の増加に繋げる努力をしている。利用者から直接寄せられた声を施設の管理運営に生かし、利用者に寄り添った施設の管理運営を行っている。防災・避難訓練や職員研修にも積極的に取り組み、利用者が安心・安全に利用できる状態を常に整えており、指定管理者として評価する。